

所沢市民文化センターミュージズ・ホールオルガニストがオルガンの“今”を発信！

ミュージズ・オルガン通信

2024年2月号

皆様こんにちは。第4代ホールオルガニストの三原麻里です。
新年を迎え、早くも一ヶ月が経ちますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

ホールオルガニスト交代 3/24 は最後のリサイタル！

さて昨年末に私のホールオルガニスト退任の発表がありました。2020年4月からホールオルガニストの仕事をさせて頂き、この3月で任期満了となります。後任には、今を時めくオルガニスト・石丸由佳さんが着任されます。原田さんと石丸さんの魅力的なタッグで、ミュージズのオルガン事業もますます盛りあがっていくと思いますので、ご期待ください！！というわけで、3月24日のリサイタルは私のラスト公演ともなります。数年あたためてきた企画をついに実現できることとなりましたので、沢山の方に聴いて頂くべく、公演内容&聞きどころを紹介いたします。

ミュージズホールオルガニスト 三原麻里 Presents
光と陰のハーモニー
～印象派の扉を拓く～

2024
3.24日
14:15開演 15:00開演

所沢市民文化センター
ミュージズ・オーグホール
3030-1, Sunring 30th Main Bldg.
at Tokorozawa Civic Cultural Center MUSE

全席指定 1,500円 (税込) 1,000円
チケット発売
メンバーズ(10月21日(土)～11月28日(土))

チケットのお申込みは
ミュージズチケットカウンター
TEL.04-2998-7777

演奏者 三原麻里 (オルガン) 萩原麻未 (ピアノ)

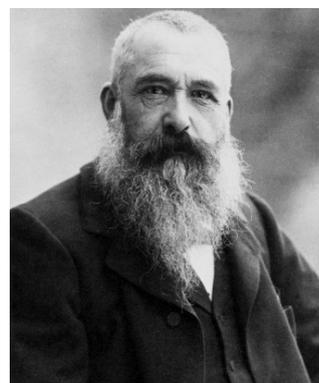
演奏曲 光と陰のハーモニー ～印象派の扉を拓く～

3/24 (日) 15:00 開演
三原麻里 [オルガン] 萩原麻未 [ピアノ]
光と陰のハーモニー ～印象派の扉を拓く～

演奏会のテーマは“印象派”の音楽



“印象派”という呼び名の由来となったモネの「印象・日の出」



フランス印象派
を代表する
クロード・モネ
(1840-1926)

“印象派”は19世紀後半にフランスで起こった美術運動で、その呼称はモネの「印象・日の出」の絵に由来します。彼らは色をパレットで混ぜずに、そのまま画面におくことで、絶えず変化する光と陰の効果を表現しました。



クロード・ドビュッシー
(1862-1918)

遅れること 20 年、音楽界ではドビュッシーが新しいフランス音楽を生み出しました。彼の繊細で、捉えどころのない独特の音楽は、音楽界の印象派と呼ばれるようになります。印象派の音楽は主にピアノやオーケストラの分野で発展していきましたが、実はオルガン音楽にも影響を及ぼしました。

今回の演奏会でオルガンにおける印象派の音楽とはどのようなものなのか、ご体感ください。

萩原麻未の美しいピアノと 今回の演奏会のための特別な編曲

今回ゲストとしてピアニストの萩原麻未さんをお迎えします。

パリで磨き上げられた、萩原さんの色彩に満ちたピアノの音色は必聴。もちろんオルガンとピアノの共演もあります。

印象派音楽の幕を開けたのはドビュッシーの「牧神の午後への前奏曲」ですが、本作を作曲家の松岡あさひさんが、今回の演奏会のために編曲してくださいました。

それぞれの楽器の特色を味わうことのできる共演をお聴き逃しなく！



ゲストとして登場する
ピアニストの萩原麻未

フランス音楽の魅力を届けます

10 代の頃から繊細なハーモニーや、目の前に映像や光が浮かぶようなフランス音楽に惹かれ続けてきたのですが、その魅力をお伝えしたいと準備を進めています。

午後のひととき、光と陰が踊るフランス音楽の一端に触れて頂ける機会ですので、ぜひお越しください。お待ちしております♪

2024 年 3 月 24 日[日] 15 時開演 アークホール
三原麻里[オルガン] 萩原麻未[ピアノ]
光と陰のハーモニー ~印象派の扉を拓く~
一般 1,500 円 **メンバーズ特割 1,000 円**



👉公演詳細



👉動画はコチラ



★ミュージズのオルガン内部の様子★
オルガンの秘密を原田真侑さんとレポート

Profile

ミュージズ・ホールオルガニスト
三原 麻里 Mari Mihara

東京藝術大学オルガン科および、同大学院修了。平成 25 年度文化庁新進芸術家海外研修員としてフランスで研鑽を積む。2012 年、第 23 回シャルトル国際オルガンコンクール優勝で世界の注目を集めた。ヨーロッパ各地のオルガンフェスティバルに招待され演奏ツアーを行っている。